

思い 女性消防団の存在を
もっと知って



南関町消防団女性消防隊
うちだ ゆかり
内田 由佳理さん (関村)

消防隊へ入隊したきっかけは、当時の隊員に強く誘われて、入隊を決めました。

活動していく中で、周囲のサポートは必要ですが、会議も子連れOKだったり、動きやすい時間に行っているのも助かっています。

救命講習普及員の資格取得など、普段できないことを体験できたり、救命コンテスト前には、消防署の指導の下、何度も練習したことで自信につながりましたし、地域の防災に貢献できていると思います。

今後は、もっと「女性消防隊員は保育士や主婦の方も活動している」ということを知ってほしいです。役場職員だけでなく主婦や保育士など、各々が趣味や職業などの得意分野を活かして活躍しています。



女性のチカラ



消防団といえば、男性の姿が浮かびませんか？
町では、平成20年4月に女性消防隊を発足し、当時2名だった隊員も現在では11名に増えました。女性消防団員の「女性の視点」で火災予防の広報や啓発活動をしています。それぞれの特技や資格・経験を活かし、さまざまな啓発活動を行っています。



特集 『まちを守る 熱き消防団』



全国で地震や風水被害など大規模災害が多発する中、まちの消防・防災リーダーとなるのが消防団。幅広い活動を行い住民の安心・安全を確保しています。今月は、そんな『まちを守る消防団』について紹介します。

消防団って？

消防団員はそれぞれ自分の仕事を持ちながら、同じ地域に住む仲間と力を合わせ、火災やさまざまな自然災害から地域を守ってきました。そこには自分たちの住む町は自分たちの手で守りたいという思いがありました。そして、その思いは、団員から団員へと受け繋がれています。

しかし今では、全国的に消防団員の確保が問題となっており、町でも消防団員が不足しています。

まちを守る

南関町消防団

消防団は、江戸時代の火消しがルーツといわれています。南関町消防団は、本部分隊、よびラップ隊、女性消防隊、第一分団から第四分団の団員(定員500名)で構成されています。

**災害は待って
くれません**

災害が起こった時に自分たちの地域を守るためには、多くの人の力が必要です。最も大切なのは、一人ひとりが地域の安全に対して関心を持つことです。大切な人と大切なまちを守るため、あなたにもできること：きつとあるはずですよ。



南関町消防団員 大募集

町では、男女問わず消防団員を募集しています。消防団は、火災や災害発生時の迅速な避難誘導、人命救助、初期消火活動など、地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担う、非常勤特別職の地方公務員です。消防団員に給料はありませんが、その労に報いるため年額の報酬や、多年にわたり在職して退職した場合、その団員の在職年数や階級に応じて退職報償金を支給するようになっています。



「自分たちの地域は自分たちで守る」そんな使命感をもった人の力をぜひとも必要としています。平成31年度入団を希望する人は、3月15日までに地元消防団または役場総務課業務係へご連絡ください。

【入団資格】

- 町内在住または勤務している18歳以上
- 心身ともに健康な人
- ※申込締切 3月15日(金)

【主な行事】

- | | |
|-----------------|---------------|
| 4月 辞令交付式 | 12月 年末特別警戒 |
| 6月 町ポンプ操法大会(隔年) | 1月 消防出初式 |
| 11月 秋季全国火災予防運動 | 3月 春季全国火災予防運動 |

問 総務課業務係 ☎57-8500